

特集：地元の魅力をどう伝えるか

— 田中直実さん —

■ かわら版づくりの裏側

かわら版は“知っとこ・食べとこ・行っとこ”の三つで、地元をもっと知ってもらいたい
思て作ってきたんです。唐津さんや網干さんと、毎回どの記事にするか悩みましたが、出
来上がったもんはどれも紹介したい場所ばかりでね。もっと多くの人に届いたらええの
になあと。

■ 子どもたちに地元を知ってほしい

今の子らは高砂の良さに気づかんまま大きくなる子が多いんです。小学校の授業で地元
の歴史を学ぶ機会があったら、もっと興味持つと思うんですよ。私も小学生のとき歴史探訪
があって、めっちゃ印象に残ってます。

せやから、資料を学校で使ってもらったり、ガイドの話を聞く時間を作ったり、そういう
仕組みが必要やと思うんです。

■ “帰ってきたい町” にするために

地元を誇れる気持ちがあったら、大学や就職で外に出ても“また帰ろう”って思えるんで
すよ。かわら版やガイドの蓄積は絶対無駄になってへんし、もっと見える形にしたら、子ど
もらも家で話したくなるはずですよ。

■ まちづくりは“人づくり”

まちづくりは長い時間かかるものですけど、今できることを始めなあきません。若いとき
から地域の活動を知っとったら、将来の不安も減るし、老後の居場所にもなる。学校運営委
員会なんかで提案したら、意外と実現できるかもしれません。